

地域の  
の  
かわら版

# まるやま

第5回

## 丸山農業まつり

開催



2月9日（日）に道の駅 ローズマリー公園 シェークスピア建物内とその周辺で、丸山農業まつり実行委員会主催による、「第5回丸山農業まつり」が、開催されました。

今年は、品評会を行わないかわりに、丸山の花き部青年部による「フラワーバレンタイン フラワーアレンジメント体験」や郷づくりまるやまによる「空くじなしのくじ引き」が行われました。

前日に近年にない大雪が降り、開催が心配されましたが、悪条件の中でも、地域にお住まいの方や観光客の皆さんが来て下さり、各種出し物で楽しみ、賑わいました。

また、「郷づくりまるやま セーフティー丸山」では非常食の代金を義援金として募ったところ、¥27,356円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

4Pの写真もご覧下さい。

No. 39

# ほっとスポットひだまり報告

第二十八回「ほっとスポットひだまり」が12月12日（木）丸本郷集会所で開催されました。今回の司会は領家さんでした。今年最後の開催でしたので、皆さんにわかるように「歌って笑って元気に年越し」と標語としてポスターを作り集会所に貼りました。

最初は平井さんの軽体操から、皆で体をほぐしました。軽体操のはじめはじゃんけんを取り入れたものでした。次はひざの上に手を乗せ「すりすり」と手で膝をさすりながら、もう片方の手は「トントン」と膝の上を叩きます。この動作を交互に行いますが、混乱しないようにするのは結構大変でテレビを見ながらやれば良いそうです。この体操に慣れてきたら「だんだん脳が活性化しましたね」と言われつつ、違う体操に移ります。脳の活性化で「グー」と手のひらを握って、胸の所へ持ってきて、反対の手は開いた「パー」の状態です。これを右左交互に行います。また、手でかわいいかたつむりの形をつくり、これはじゃんけんの「グー」と「チョキ」を組み合わせて、かたつむりの形を作り上下入れ替えながら「かたつむり」の歌を歌いました。

その後はカラオケでした。皆さんは喜んでマイクを回していました。一曲歌い終るとテレビ画面に点数が表示されます。表示される点数は、高得点でした。それもそのはず、来場した方の中にはカラオケの段を持っているそうです。丸正さんの伴奏では用意した歌詞を歌いました。

最後に部会長の和田豊さんが、演歌は歌詞と人生の重なりがあり、聞く人の心を打つと話され、また歌を歌うということは心が明るくなり今日は良かったのではないでしょうかと挨拶がありました。

今回のひだまりは楽しくやろうとの目的から、カラオケになったのですが、今までほっとスポットひだまりに足が遠くなっていた方も参加して下さいました。



次回：宮下中森集会所  
3月13日（木）  
13：30～15：30

### 3. 新聞紙でスリッパをつくろう

ベストを尽くすのは、いざという時だけではありません。日ごろの備えや訓練も同じこと。その気になれば、身近なもので身を守る防災用品に変えることができることを話し、新聞紙でスリッパを作る体験をしてもらいました。（手作り防災グッズについては「セーフティー丸山」までお問い合わせください。）



### 4. 大地震の到来に備えて

私が「郷づくりまるやま」の防災ボランティア「セーフティー丸山」に入った理由は二つあります。一つは東日本大震災の年、南三陸町でのボランティアを通して、自助・共助の大切さを痛感したこと、もう一つは一昨年5月に「房総半島沖でマグネチュード8クラスの大地震の可能性」という報道に衝撃を受けたことです。最近ではNHKの「メガクエイク（巨大地震）よみがえる関東大震災」という番組でも取り上げられました。

番組を見て「近い将来における南房総沖でのM8以上の大地震発生と短時間での津波の襲来」の可能性について確かめたいと思い、NHKの番組に出演していらした京都大学の西村卓也准教授にメールしたところ、次のようなお返事がありました。

地震という現象自体が数百年単位のひずみの蓄積を経てそれが解放される現象なので、人間の生活する時間に対して非常に長く、地震の可能性があるとはいっても、今なのか100年後なのかはわかりません。しかし、東日本大震災を見ても常日頃から最悪のことを考えて備えておくことは、減災に非常に効果的です。津波の浸水域や地震の被害想定というのは現在の技術でもかなり進んでいて、予測がある程度可能です。私が考えるような房総沖の地震そのものの想定がなされている訳ではないが、千葉県の被害は1703年に発生した元禄関東地震と同じようなものになるので、大変参考になると思います。

### 5. おわりに

我が家では、防災グッズリュック、転倒・飛散防止のほか、出入り可能口に履物、寝床に履物、トイレを含め全部屋に懐中電灯、3日分の飲食料、循環型の飲料水タンク、車のバック駐車、最小限度の防災グッズ携帯、車両に防災用品搭載（ガラスハンマー等）、高台までの避難路整備、丸山中までの避難経路の確認、家族の集合場所決め、市の耐震相談受診（耐震補強ケ所の特定）などの備えを少しずつしています。

防災・減災はまずは自助から。自助あつての共助となります。備えあれば憂いなし。あとで悔しい思いをしないためにも今日から「毎日一つずつ」を心がけて、来るべき時に備えていきましょう。

山口 徳昭



豚汁準備中



農協花き部さん 花の展示準備  
さずが丸山の花やさん！見事な花が勢揃い



“ハイゼックス米”ご存知ですか？



「くじ引き」は今回の目玉です  
一等賞は“ティファールのお鍋”でした



種無料配布  
今年も「ひまわりフォトコンテ」やりますよ～



非常食です  
代金は義援金箱に



協賛団体さんのテントも



フラワーパレンタインのモニュメント前で  
記念写真に仲間入り



チーパくん大活躍



久しぶりだね〜♪



華麗なフラダンス



すばらしい花を楽しくセリ売り  
…ものすごくお買い得でしたヨ

▼地域のかわら版 まるやま 第39号

発行：平成26年2月27日（月 1回程度発行）

発行元：郷づくりまるやま

編集：地域づくり支援員

〒299-2592 南房総市岩糸2489（丸山地域センター内）

TEL：0470-46-2388 FAX：0470-46-3991

E-mail：msatodukuri@gmail.com

URL：http://civil.mboso-etoko.jp/group/detail.asp?id=84

